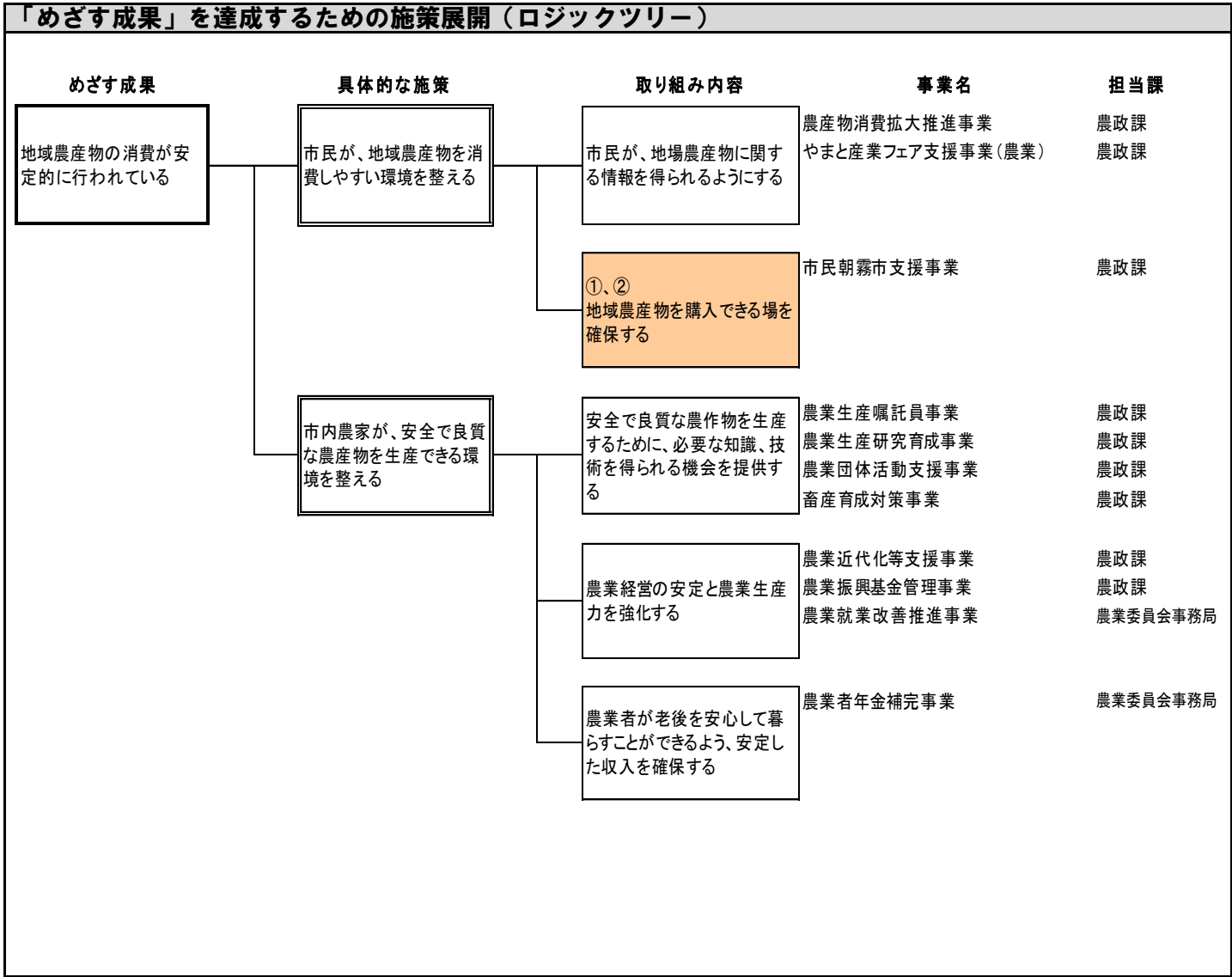


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-2-3 地域農産物の消費が安定的に行われている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	地域農産物の消費が安定的に行われている
		市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消のしくみが整っています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
直売所などで販売する農家数		朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数	
計画策定時 現状値	146軒	計画策定時 現状値	197回
実績値 (H24)	146軒	実績値 (H24)	202回
中間目標値 (H23)	146軒	中間目標値 (H23)	200回
目標値 (H25)	146軒	目標値 (H25)	200回

所 管 部		環境農政部	
平成２４年度までの 取り組み内容	【市民が、地域農産物を消費しやすい環境を整える】 ・新鮮で安心な地場野菜を購入できるよう大和市民朝霧市や大和市民夕やけ市、おさんぽマートなどを開催し、地産地消を推進しました。 ・地産地消をＰＲするため、米作文や大和で採れた野菜作文などの募集を行ったり、地場農産物を利用した親子料理教室などを実施しました。 ・やまと産業フェアでは、地場農産物や農産物加工品、植木苗物の各品評会を通して、多くの市民にやまとの農業を紹介し、地場農産物のＰＲを行いました。 ・大和市推奨品栽培プロジェクトで栽培したさつまいも（紅あずま）から芋焼酎を作り、推奨品として販売しました。また、ポスターやのぼり旗を掲出することなどにより積極的にＰＲを行いました。		
	【市内農家が、安全で良質な農産物を生産できる環境を整える】 ・安全で安心な地場農産物を生産している農業団体に、新種の露地野菜の栽培研究を依頼し、商品開発や農業技術の向上を図りました。		
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・新鮮な農産物が地産地消されるように、直売所以外にも学校給食等に提供の場を拡大するとともに、ＪＡさがみをはじめ各農業団体への支援を行い、品質の向上や農業生産技術を図る必要があります。		
	注）．例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
今後の展開方針			
新規事業の立案		（該当する事務事業）	
既存事業の拡充	・大和市推奨品栽培プロジェクトでは、芋焼酎に続き、地産地消促進のために、津久井在来大豆（かながわブランド認定大豆）の栽培を行っています。今後も品質向上を図りながら学校給食等への利用を拡大していきます。	（該当する事務事業） 農産物消費拡大推進事業	
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）	
事業の効率化		（該当する事務事業）	
その他見直し		（該当する事務事業）	